

平成23年 8月24日
独立行政法人農業・食品産業技術総合研究機構
九州沖縄農業研究センター

気候変動下における東アジア圏のイネの生産性向上を目指して —農研機構国際シンポジウム 2011 のご案内—

ポイント

- ・日本、中国、韓国の第一線の研究者により、イネの多収性や温暖化対策に関する最先端の研究成果を発信します。
- ・多収イネ育種について世界的権威である国際稲研究所の元遺伝・育種部長のクッシュ博士を海外から招致します。
- ・生産現場への早期普及を目指して研究者、普及組織、生産者等との意見交換も行います。

概要

1. 農研機構では、研究成果を情報発信し、多くの方々に広く活用していただくため、各地で「農研機構シンポジウム」を開催しています。
2. この度、農研機構九州沖縄農業研究センター【所長 井邊 時雄】は、「気候変動下における東アジア圏のイネの生産性向上を目指して」をテーマに、国際シンポジウムを開催いたします。
3. 今回のシンポジウムでは、多収イネ育種において世界的権威である国際稲研究所の元遺伝・育種部長のクッシュ博士を海外から招聘するとともに、日本、中国、韓国の第一線の研究者を一堂に集め、イネの多収性や温暖化対策に関する最先端の研究成果を国内外に発信し、さらなる研究の発展に資するとともに、農業現場に円滑に広く技術移転ができるよう研究者、普及組織、生産者等との意見交換を行う予定です。
4. 報道機関各位におかれましては、読者の皆様に事前に開催のご案内をいただきますとともに、当日は是非取材にお越しいただき、紙面、番組等でご紹介いただければ幸いです。

記

開催日時：平成23年9月21日（水）11:00～17:30

開催場所：福岡国際会議場（福岡県福岡市博多区石城町2-1）

※開催内容は、下記のURLでもご覧頂けます。

<http://konarc.naro.affrc.go.jp/oshirase/2011/cssea/j/index.html>

以上

問い合わせ先など

広報担当者：農研機構九州沖縄農業研究センター 広報普及室長

松岡 誠 TEL 096-242-7682

FAX 096-242-7543

プレス用 e-mail : q_info@ml.affrc.go.jp

本資料は九州各県の県政記者クラブ、日本農業新聞九州支所に配付しています。

農研機構国際シンポジウム 2011
「気候変動下における東アジア圏のイネの生産性向上を目指して」
開催要領



1. 趣旨

近年の東アジアにおける経済成長に伴う食糧需要の増大から、さらなる稲の収量増加が求められています。また、地球温暖化は、この地域のコメ生産に収量と品質の両面から不安定性をもたらしています。この問題を解決するために、中国、韓国、日本のイネ研究者が最新のイネ研究について話題提供するとともに情報交換を行います。地域一体となった温暖化対策の推進に向けて、西日本地域の普及機関や大学等の研究機関を対象に開催します。

2. 主催等

主催 (独)農業・食品産業技術総合研究機構（農研機構）九州沖縄農業研究センター

共催 農研機構 作物研究所

後援 福岡県、佐賀県農業試験研究センター、長崎県農林技術開発センター、九州大学大学院農学研究院、東海大学農学部、農研機構 近畿中国四国農業研究センター

3. 開催日時

平成 23 年 9 月 21 日（水） 11:00～17:30

4. 開催場所

福岡国際会議場 ※JR 博多駅からバスで約 13 分

〒812-0032 福岡県福岡市博多区石城町 2-1 <参考> <http://www.marinemesse.or.jp/congress/>

5. プログラム

10:30 - 13:00 **Registration Center Hours**

11:00 - 12:00 **Poster Session**

13:00 - **Oral Session** (Welcome address and opening remark)

13:15 - 14:15 **Keynote Speech**

Strategies for Breeding High Yielding Rice in Asia: Enhancing the Green Revolution

Dr. Gurdev S. Khush

Adjunct Professor of the Department of Plant Sciences, University of California, Davis, the Former IRRI Principal Plant Breeder, and the Head of Plant Breeding, Genetics and Biochemistry Division, IRRI

(Coffee Break)

14:30 - 14:50 **The Outlook for High-Yielding Rice Breeding in China**

Dr. Jianmin Wan

Institute of Crop Science, CAAS, China

14:50 - 15:10 **Responses and Contributions of Rice Cropping to Climate Change in China : Evidences from Field Experiments**

Dr. Weijian Zhang

Institute of Crop Science, CAAS, China

15:10 - 15:30 **Countermeasure Research for Rice Production under Climate Change in Korea**

Dr. Chung-Keun Lee

National Institute of Crop Science, RDA, Korea

15:30 - 15:50 **Development of High Yield Japonica Rice and Its Use in Processing**

Dr. Hyeon-Jung Kang

National Institute of Crop Science, RDA, Korea

(Coffee Break)

16:10 - 16:30 **Yield Potential and Growth Characteristics of the Recent High-Yielding Rice Varieties**

in Japan

Dr. Satoshi Yoshinaga
NARO Institute of Crop Science, Japan

16:30 - 16:50 **Countermeasure Research for Rice Production under Climate Change in Japan**

Dr. Satoshi Morita
NARO Kyushu Okinawa Agricultural Research Center, Japan

16:50 - 17:30 **General Discussion**

Chairman: Dr. Motohiko Kondo, NARO Institute of Crop Science, Japan

(Closing remark)

※英日・日英の同時通訳を致します。

6. 参集範囲

西日本（近畿・中国・四国・九州・沖縄地域）を中心とした農林水産省関係部局、農業関係独立行政法人、大学、府県の行政・普及機関・試験研究機関、関連企業、関連団体、生産者、農研機構等

7. 参加費

無 料

8. 定 員

150 名 ※定員に達し次第、申し込みを締め切ります。

9. 参加申し込み

○9月9日（金）までに別紙1にご記入の上、下記宛てにEメールにてお申し込み下さい。

【国際シンポジウム事務局】〒833-0041 福岡県筑後市大字和泉 496

九州沖縄農業研究センター（筑後） 稲育種グループリーダー 坂井 真

電話：0942-52-0647 E-mail：entry_cssea@ml.affrc.go.jp

※団体でのお申し込みの場合、連絡先は代表者の方のみで結構です。その他の欄は、各個人毎に記載して下さい。

○併設するポスターセッション（テーマに沿った内容、英文、イネのほか麦類・大豆等も含む）で発表を希望される方は、別紙2“Poster Session Information”に従い8月10日（水）までに事務局へお申し込み下さい。

10. その他

①服 装：節電が奨励されている折、クールビズで対応させていただきます。暑い場合は上着およびネクタイの着用を控える等、軽装でご来訪いただいで結構です。

②宿 泊：会場周辺にホテルがありますので、各自で早めにご予約願います。

③昼 食：会場周辺のレストラン等で各自お取り下さい。

④情報交換会：シンポジウム終了後 18：00 から、会場1Fのレストラン・ラコンテにて情報交換会（立食形式、会費 5,000 円、定員 50 名程度）を開催します。会費は会場受付にて申し受けますので釣り銭なきようご用意願います。なお、キャンセルは 9 月 12 日(月)までにお願います。

⑤個人情報の取り扱い：申し込みによりお預かりする個人情報につきましては、本シンポジウム運営に関する以外目的には使用致しません。

⑥シンポジウム終了後、9月22日（木）に研究現地視察を予定しておりますが、参加をお願いする方には事務局から別途連絡致します。

